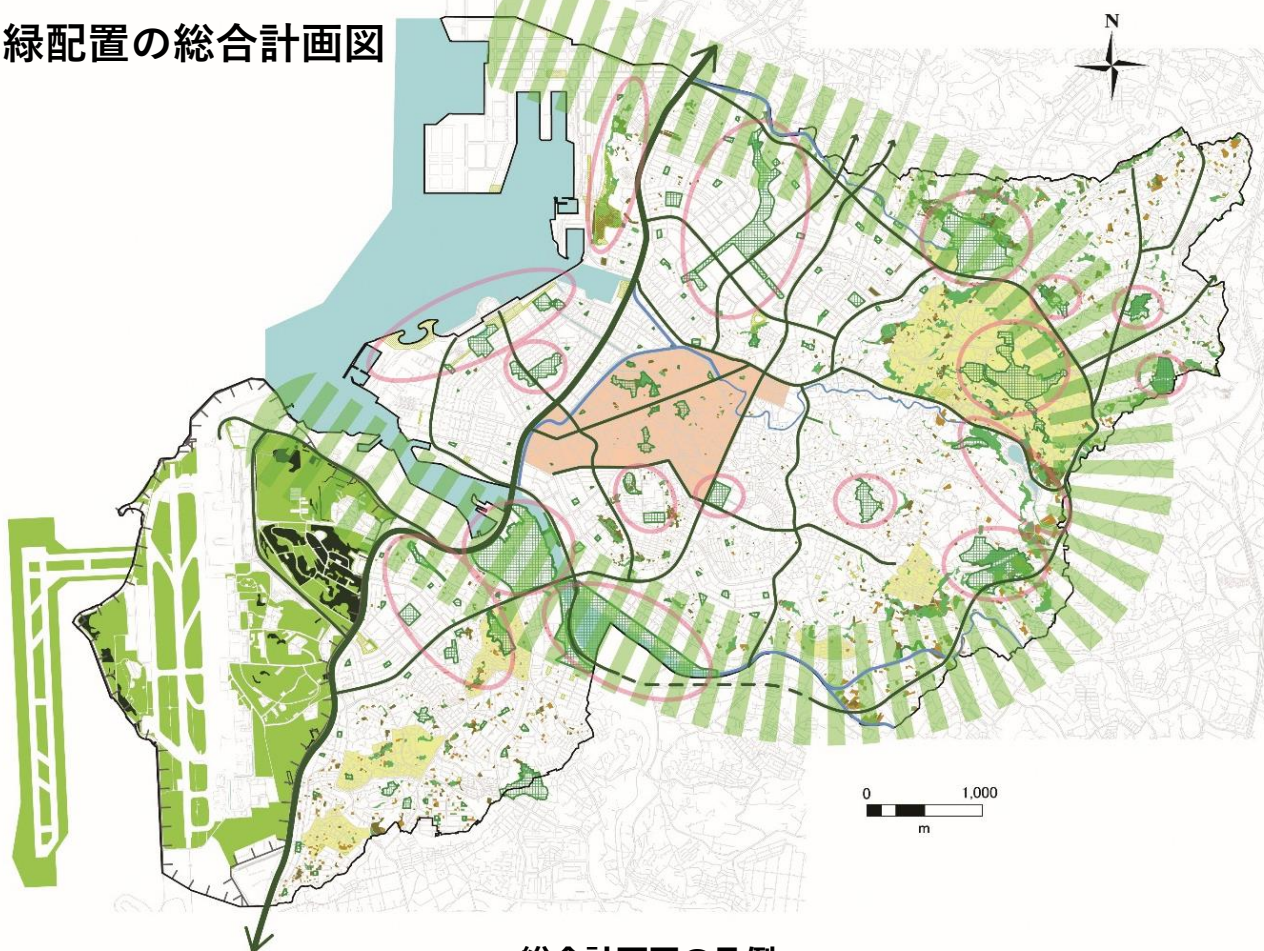


緑の配置方針

那覇市の目指す緑の配置について、総合計画図としてあらわしたものが下図となります。
基本方針に基づき、「市の緑の骨格を守る」「緑をつくりそだてる」ための対象地を示しています。

緑配置の総合計画図



総合計画図の凡例

	緑の骨格	斜面緑地の貴重な緑を保全し、まちを緑と水で取り囲む
	緑の軸	街路樹等ライン状の緑を充実させ、ネットワークを強化する
	水の軸	水辺の自然を豊かにし、ネットワークを強化する
	緑の拠点	公園や緑地の充実・質の向上を図る
	中心市街地 区域	まちの顔づくりや再整備において特に積極的に緑を生かす
	旧集落	屋敷林や御嶽、湧水などの文化的緑の保全を図る

那覇市緑の基本計画 2019年3月改定【概要版】
那覇市都市みらい部 花とみどり課

那覇市緑の基本計画 [2019年3月改定]

計画の概要

みんなで守る・育てる・活かす！
緑がつなぐ 亜熱帯庭園都市なは

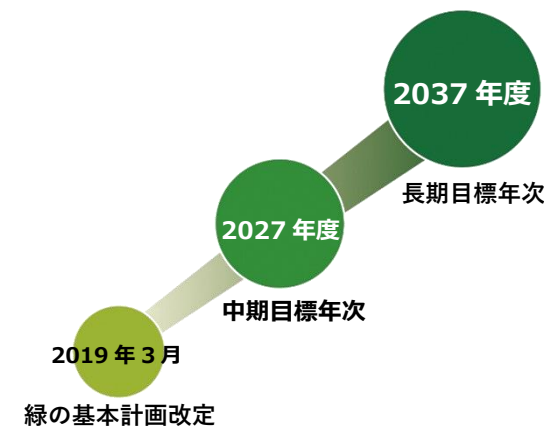


緑の基本計画とは

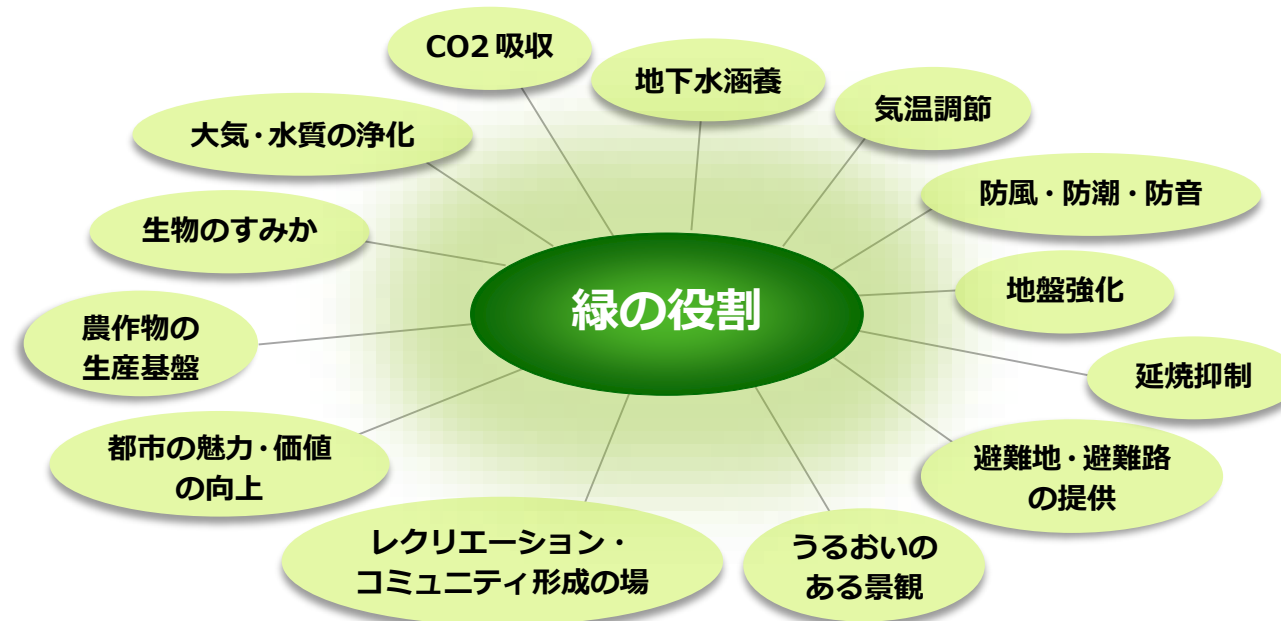
那覇市は緑豊かなまちでしょうか？どんな緑があって、どんな緑のまちをめざしているのでしょうか？

緑の基本計画は、那覇市の「緑」についての将来像を定め、それを実現するための方針、施策を示し、今後の市の取り組みの羅針盤となるものです。

前「那覇市緑の基本計画」は平成13年3月に策定していますが、当時の将来目標年次を過ぎたことから、社会環境の変化も踏まえて新たな目標を定め、このたび「改定版」を策定しました。



まちに存在する緑は、さまざまな面から私たちの生活を支えています。
持続可能な社会の形成が望まれているなか、緑はまちにとって重要な役割を担っています。



那覇市の緑の特色

まちなかに残る貴重な緑

那覇市の丘陵・台地部の斜面に残る自然緑地や琉球石灰岩層、市街地を流れる河川、自然湿地の漫湖、西海岸の海辺などの緑は、那覇市らしい景観の基盤となる「緑の骨格」を形成しています。

歴史・文化を象徴する緑

かつての琉球王国の王府は、風水思想を取り入れ、地理をいかした王都づくりを進めました。今もみられる樹林地や御嶽、桶川、石畳、拝所などの緑は、王国時代から継承される那覇市らしい緑となっています。

都市を彩る緑

空港周辺やモノレール沿線は亜熱帯性植物に彩られた沖縄らしい街並みを形成しています。自然緑地や世界遺産、文化資源を含む公園は、都市生活における市民のレクリエーションや休養の拠点となっています。

市民がつなぎ・ひろげる緑

市内の個人宅や民有地では庭先や屋上等の緑化がみられ、地域や道路では市民ボランティアによる緑化・美化活動がみられます。個人の緑から地域の緑、そして市域の緑へと緑がつながっています。

那覇市の緑の将来像

緑の将来像



亜熱帯庭園都市の名にふさわしい、環境を活かした魅力的なまち



緑を介していきいきした交流が生まれるまち



暮らしやすく持続性のある健やかなまち

将来像を実現するための基本方針

緑を守る

—緑の骨格を保全し、まちを緑と水で取り囲む—

- 市の地形を特徴づける斜面緑地は貴重な自然の拠点となっており、環境・景観を構成する重要な「緑の骨格」として良好な状態での保全をはかります。
- 人と生き物がこれからも共に生活できるよう、自然地の保全につとめます。



緑をつくり育てる

—緑と水のネットワークで、市内の緑をつなぐ—

- 緑や水は本来「つながり」を持っており、公園や緑地、川や水辺の緑、道路植栽などで緑をつくり育て、緑のネットワーク網の充実をはかります。
- もっとも身近な環境を心地よく美しいものにし、だれもが住みたくなるまちづくりをすすめます。



緑を活かす

—緑のオープンスペースを活用し魅力あるまちをつくる—

- 公園の魅力を高め、都市の資源として有効かつ柔軟な活用を進めるとともに、古くなった公園のリニューアルに取り組んでいきます。
- 道端や空き地などさまざまなオープンスペースを活用し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 緑の力で、まちの防災機能の向上や循環型社会の実現を目指します。



緑の絆をつなぐ

—緑のまちづくりを市民・事業者・行政の協働で進める—

- 市民が緑への関心を高め、触れ親しめるよう、交流の機会や情報発信の充実を図ります。
- 土地の緑化や管理、公園の柔軟な活用のため、関係者間の連携の強化を図るとともに、多様な立場の人々が参画しやすい体制を整えます。



緑の現状と課題

■那覇市の緑の問題点

- ◆ 開発による緑地の減少
- ◆ 新たな緑を創出する余地が限定的
- ◆ 斜面緑地等への効果的な保全
- ◆ 開発や外来種によって生態系維持が困難
- ◆ 都市公園の老朽化、ニーズとの不調和
- ◆ 維持管理における人材・財源不足
- ◆ 緑が少ないエリアがある（緑の偏在）

■緑を取り巻く新たな社会動向

- ◆ 緑を積極的に活用した社会資本整備（グリーンインフラ）による、自然災害に強く持続可能な都市基盤の整備
- ◆ 地域の再生や活力向上、コミュニティ形成の拠点としての公園・緑地の活用
- ◆ 民間のノウハウを積極的に取り入れた、緑の管理・運営の工夫

那覇市の緑の課題

●緑を守る（保全）

- ・ 緑の減少抑制
- ・ 効果的な保全施策の展開
- ・ 外来種対策 など

●緑を増やす（緑化）

- ・ 成果を踏まえた緑化施策の継続展開
- ・ 効率的効果的な維持管理方法 など

●緑をつかう（活用）

- ・ ニーズの変化に合わせた公園のリニューアル
- ・ 緑を活用した災害に強いまちづくり
- ・ 民間活力を活かした柔軟な公園の活用 など

●市民や事業者との協働

- ・ 協働の仕組みづくり
- ・ 緑化意欲をより高める支援策 など